

NPO法人
もりおか認知症サポーターズもりもり会

平成 27 年度（第 3 期）事業報告

第 4 期通常総会

山岸和敬荘 コミュニティーホール

2016 年 5 月 8 日（日）10 時～

(法第 26 条関係「定款変更認証申請」)
 (法第 28 条関係「書類の備置き」)
 (法第 29 条関係「事業報告書等の提出」)

平成 27 年度の事業報告書

平成 27 年 4 月 1 日から 平成 28 年 3 月 31 日まで

NPO 法人もりおか認知症サポーターズもりもり会

1 事業の成果

社会全体で認知症の問題や関心といった意識が高くなってきていると実感する。その中で私達の行う活動のニーズの高さを感じる。「たくさんの方々との繋がり」が認知症になっても安心して生活していく地域づくりとして継続して行っていくことの必要性を感じる。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した 事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費 の金額 (円)
啓発活動	認知症劇	H27.7/18	盛岡市	5 名	40 名	8,286
	認知症劇	H27.12/20	雫石町	10 名	200 名	
	認知症講演+寸劇	H28.2/17	盛岡市	6 名	50 名	
	認知症講演	H27.8/5	盛岡市	1 名	高校生 6 名	
	認知症講演	H27.9/10	盛岡市	1 名	40 名	
	MAP 作成	通年	盛岡市	4 名		
相談業務	認知症カフェ	H27.7/19	盛岡市桜城町	4 名	3 名	298
		H27.8/23		3 名	3 名	
		H27.9/20		3 名	1 名	
		H27.10/23		3 名	2 名	
		H27.11/22		4 名	4 名	
		H27.12/27		3 名	4 名	
		H28.1/23		4 名	4 名	
		H28.2/23		3 名	3 名	
		H28.3/23		3 名	5 名	
人材育成	人材育成セミナー	実施しな かった				
レクリエーション	RUN 伴	H27.9/6	盛岡～一関	11 名	122 名	30,230

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した 事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の人数	事業費 の金額 (円)

(備考)

- 1 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2 2(2)には、定款上、「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。

(A4)

(法第 26 条関係「定款変更認証申請」)
 (法第 28 条関係「書類の備置き」)
 (法第 29 条関係「事業報告書等の提出」)

平成 27 年度 活動計算書

平成 27 年 4 月 1 日から 平成 28 年 3 月 31 日まで

NPO 法人もりおか認知症サポーターズもりもり会

(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	102,000		
賛助会員受取会費	0		
		102,000	
2. 受取助成金等			
認知症啓発活動事業	0		
認知症カフェ事業	0		
		0	
3. 事業収益			
認知症啓発活動事業	0		
認知症カフェ事業	0		
人材育成事業 (人材育成セミナー)	0		
レクリエーション事業 (RUN 伴参加費)	0		
		0	
4. その他収益			
寄付金	0		
受取利息	0		
雑収益	0		
		0	
経常収益計			102,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) < 認知症啓発活動事業 >			
消耗品購入費	8,286		
		8,286	
(2) < 認知症カフェ >			
通信費	50		
消耗品費	248		
		298	
(3) < 人材育成事業 >	0		
		0	
(4) < レクリエーション事業 >			
交通費	19,230		
参加費会員助成	11,000		
		30,230	
2. 管理費			
通信管理費 (インターネット等)	21,676		
弔電代	3,704		
経常費用計		25,380	64,194
当期経常増減額			37,806

前期繰越正味財産額 当期正味財産増減額			53,482
			37,806
次期繰越正味財産額			91,288

--	--	--	--

(A 4)

各事業の反省

①平成 27 年度 啓蒙活動事業報告

実施報告

今年度寸劇の実施回数 3回

平成 27 年 7 月 18 日 (土)	下米内八雲神社お祭り寸劇	参加者	おおよそ	40名
平成 27 年 12 月 20 日 (日)	雫石町認知症町民セミナー寸劇	参加者	おおよそ	200名
平成 28 年 2 月 17 日 (水)	盛岡市野田自治公民館 講演 (菊池麻衣子) と寸劇	参加者	おおよそ	50名

その他講演 2回

平成 27 年 8 月 5 日 (水)	盛岡市社会福祉協議会 講演 (松浦夏美)	参加者	高校生	6名
平成 27 年 9 月 10 日 (木)	桜城地区ふれあいサロン 認知症講演 (工藤克行)	参加者	おおよそ	40名

事業にかかった経費

今年度については助成金を使わず依頼のみの対応。経費は備品代のみ。(8,286 円)

反省として

良かった点、工夫した点

○今年度は助成金を使用しないで依頼のみを対応していった。その事でメンバーの負担も少なく無理なく行うことが出来た。

○アンケート結果等より寸劇に関してはいつも分かりやすいとの良い評価をいただいている。また地元の人に参加してもらっている事も親近感が湧き見やすいのではないかなと思える。

改善や検討が必要な点

○寸劇のレパートリーを増やす。または民三を実際どう支えていくかの仮想的ないろいろな人からの支援の方法等、「地域で支える認知症」の内容だけに留まらず幅を広げていってはどうか。

○多くの人への活動を見ていただく、または啓蒙活動の取り組みを広めてもらうために動画配信を検討しても良いかなと思う。

○地域住民のみならず若者に対して (中高生) の啓蒙をどう広げていくかを考えていきたい。

○依頼があってから計画を組むもなかなか練習に集まれずに行うことが出来ない面もあった。また背景等の備品について破損や痛みが進んできており新たに作成が必要な物も出てきている。寸劇に関して依頼がある前から計画的に日を設けて取り組んでも良いのではないかな

総括

今年度は助成金を使わずに依頼のみに対応してきた。その点でメンバーへの負担は昨年度に比べて少なかったように思われる。寸劇においては周りからとても良い評価はいただいている。その点においては今後もメンバーの負担も考えながら継続して行っていきたい。

一方で現状にととまらず、良い取り組みを多くの人へ見ていただく、広めてもらうための工夫や中身について幅を広げて取り組んでいく事も必要かなと思われる。そのためにも依頼がある前から啓蒙活動についてどのように取り組んでいきたいかを話し合いながら次年度につなげていきたい。

H27 年度 MAP づくりについての反省

認知症の方とその家族が必要としている地域資源を見える化するための MAP を作りたいという思いで企画した事業だった。当事者の方に役立つものとするため、今年度はニーズの掘り起こしを目的にアンケートの作成、配布、まとめを終了することが目標だった。サンプルの回収方法でつまずき、事業が滞ってしまった。

②平成27年度 相談援助事業（思いやりカフェ）事業報告

実施報告

今年度より桜城地区福祉老人センターを借りて実施した。今年度開催回数 9回

平成27年7月19日（日） 参加者 7名
平成27年8月23日（日） 参加者 6名
平成27年9月20日（日） 参加者 4名
平成27年10月23日（日） 参加者 5名
平成27年11月22日（日） 参加者 8名
平成27年12月27日（日） 参加者 7名
平成28年1月23日（日） 参加者 8名
平成28年2月23日（日） 参加者 6名 + 子供2名
平成28年3月23日（日） 参加者 8名

カフェに関連して

平成27年9月10日 第2回 桜城地区ふれあいサロン 認知症講演の実施
平成27年11月12日 第3回 桜城地区ふれあいサロン 認知症座談会への参加
平成28年3月12日 もりおか認知症カフェ連絡協議会への参加

事業にかかった経費

お菓子を持ち寄りにした事、場所代が無料な事よりかかった経費は事務経費のみとなっている。（298円）

反省として

良かった点、工夫した点

- 地域の方に知って頂くために10月よりカフェの取組みについての記録「思いやりカフェノート」をセンターに置かせていただいた。合わせてブログにおいても同様の内容を掲載した。
- 費用軽減を目的にお菓子を各自での持ち寄りにした。
- 盛岡市西口地域包括、盛岡市社会福祉協議会との連携や繋がりをもつことが出来た。
- 若年性の認知症の方のやりたい事を応援する場としても機能し始めてきている。

改善や検討が必要な点

- 広報活動がもっと必要。
- 内容や中身についての検討（曜日や場所についてこのままで良いか。その上で何をターゲットにどのような中身にしていくのか アクティビティ、話題、ミニセミナー等など）
- メンバーの負担の軽減（お菓子等）

総括

前年度に比べて、費用面やメンバーの拘束時間等、準備等の負担はだいぶ少なくなったと思われる。それは私たちの努力のみならず「思いやりカフェ」を応援してくれる周りの方々がいることが大きいと感じる。そして地域の方の参加は少ないものの桜城地域（シルバーメイトの方々）、地域包括支援センター、社協等との交わりは少しずつ出来てきていると感じる（サロンへの参加等）。次年度においてはそれをどう生かし、どのようなコンセプトで臨むのかメンバー内での意思の統一をまずは図る必要がある。

③平成 27 年度 人材育成事業

実施報告

平成 27 年度は人材育成事業については行わず。

④27 年度 レクリエーション事業（RUN 伴）事業報告

実施報告

平成 27 年 9 月 5 日（土） 八戸～盛岡

平成 27 年 9 月 6 日（土） 盛岡～一関

参加者（盛岡～一関区間 T シャツ発送 枚数より） 133 名

事業にかかった経費

RUN 伴 2015 参加費(会員参加補助 1,000 円 11 名分)		¥11,000
RUN 伴 2015 交通費(盛岡～一関)往復×3台分	¥6,410×3台	¥19,230
		合計 ¥30,230

反省として

良かった点、工夫した点

- 雨天の中、事故なく多くの方に参加してもらえて良かった。
- 認知症当事者の方も参加していただき、満足していただいた。（カフェから繋がり）
- 南東北の方へタスキを直接繋げることが出来た。

改善や検討が必要な点

- 多団体へのお願いについて、依頼活動を計画的に行えばもっと多くの人に参加してもらえるのではないか。また土曜日枠も確保する事で盛岡近郊、県北部の方も参加できるのではないか。
- 多くの人特に県南や認知症当事者の人を巻き込んでいきたい。
- 県南においては予定より時間が縮まったこともあり、次年度は 10km 南の有壁まで繋いでどうか。
- メディアに対してもっと工夫が必要。

総括


前年度に比べて、参加者の数は増えてきている。そのような中で雨天時に事故なく行えたことがとても良かった。またそれぞれの地域での地域住民を巻き込んだ独自の盛り上げ方も出てきておりぜひ次年度もそのような取り組みにつながるよう各団体とは連携を取っていきたい。

準備において多くのメンバーが今後もぜひ関わりながら進める事が必要と思われ、その中でつながりがまたあらたな取り組みや連携にもつながってくると思われる。

監査報告書

平成 28 年 4 月 15 日

NPO 法人もりおか認知症サポーターズもりもり会
代表 工藤 克行 様

監事 高田 恭平 

特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、NPO 法人もりおか認知症サポーターズもりもり会の平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで）の事業報告書、計算書類（活動計算書及び貸借対照表）及び財産目録について監査を行った。

監査の結果、法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められた。

よって、上記の事業報告書、計算書類及び財産目録は、NPO 法人もりおか認知症サポーターズもりもり会の平成 28 年 3 月 31 日をもって終了する事業年度の業務執行の状況及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認める。